

町民インタビュー

U-18男子ホッケーの全日本代表に選出

きたがわ たくみ
北河 拓実さん

[氷取城地区]

2月にオーストラリアで開催の親善試合に出場される、県立岐阜総合学園高等学校男子ホッケー部所属の北河さんにお話を聞きました。(1月5日)



聞き手/ 岩田 譲治
小川 文雄
安井 忠幸
西松 幸子



北河さんは、同校男子ホッケー部の『ゴールキーパー』として、インターハイ・国体に出場し活躍されています。2月にはオーストラリアで開催されるU-18(18歳以下)男子の親善試合に、ゴールキーパーとして出場されます。

—— スポーツ一家とお聞きしましたが。

北河さん 父はバスケットボール、母はバレーボール、兄弟3人は野球をやっていました。

—— 昨年10月にU-18男子ホッケー日本代表として、日韓交流戦で韓国に行かれましたが、何か感想は？

北河さん 海外の選手は気迫がすごいです。ガツガツとしたプレーや体を使って

きたりして、日本の選手は控えめな選手が多いと思いました。

—— ホッケーの魅力は？

北河さん プレー中の1回のミスでチャンスがピンチ



県立岐阜総合学園高校男子ホッケー部の皆さん

になったり、攻守の切り替えが早いところです。

—— いつ頃からホッケーを始めたのですか。

北河さん 中学までは野球(キャッチャー)をやっていました。何か新しいスポーツに挑戦したくて高校に入ってから始めました。

監督の薦めでゴールキーパーになりました。

—— 将来の夢は？

北河さん まずは、県内の大学に進学し、就職して社活の活躍していったらと思います。



昨年8月、山形県で開催されたインターハイの試合でゴールを守る北河さん(写真中央)



表紙の題字「あんばち」は
ほり さつき
結小6年 **堀 早槻さん**
の作品です

安八郡3町
議会議員研修会

11月7日(火)、安八郡内の町議会議員が研修会を行いました。養老町企画政策課の中島和哉講師による「養老町の歴史と改元1300年祭」について講演を聞きました。



養老町の歴史について考えるひとときでした

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

寒かった冬も終わりに近づき待ち遠しい春はもうすぐそこに町のスマートインターチェンジ構想が始まって11年目。長かったつぼみもあとわずかで開花。インター周辺の整備・開発という満開に向けさらなる努力が重要です。

「議会だより」も町民の皆さんに、見て親しんでいただける情報紙へと進化し続けます。
(岩田 譲治)

議会の傍聴にお越しく下さい。次回の議会定例会は、3月です。日程は、安八町広報紙、広報無線でお知らせします。

紙面の都合上、全議論を掲載できませんので、抜粋しています。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

TEL **0584-64-4931**

FAX **0584-64-5011**

E-mailでも受け付けています。
gikai@town.anpachi.gifu.jp